

2010年(平成22年)6月26日(土曜日)

廃道の復元を推進

増毛山道の会がNPO取得

【増毛】増毛山道の会(伊達東会長)が、特定非営利活動法人(NPO)を取得した。同会は、石狩市幌地区の増毛町別荘地区までに開削され、現在は廃道となっている増毛山道(総延長約二十八キロ)の歴史の掘り起こしと保存活動を目的の中心に据えており、今後は山道の復元作業など付随する各事業に取り組む。増毛山道の会は、町内をはじめ留萌市、石狩市、札幌市などに住む有志が二十年十二月に任意団体として結成した。二十一年度は、山道に関する歴史や文化、自然などの調査研究、地権者と交渉しながら山道の一部を復元し、道庁でパネル展を開くなど山道の貴重さをアピールしてきた。NPO法人の設立趣旨は、安政四年(一八五七年)に完成した増毛山道と生活道路として利用された支線の岩尾ルート復元や復元後の活用、維持管理。目的実現のため地域を含めた多くの人々と協同して取り組み、社会的信頼や責任遂行に配慮される法人格を持つ必要があるとして申請していた。設立日は旭川地方方法務局留萌支局に登記申請した五月二十六日。同会の事務局は、留萌市港町三丁目の小杉測量設計株式会社(小杉忠利社長)内に設置されている。事務局長の小杉社長は「認証を記念して、二十六日午前八時から岩尾ルートで今年一回目のササ狩りを行います。会員十五人が参加する予定だが、一般参加も歓迎します」と話している。増毛山道の会では今後、正会員や設立趣旨に賛同する協賛会員を募集して復元するルートの維持管理に取り組むほか、社会教育の推進、マチづくりの推進、スポーツの振興を目的とした各種事業の推進、環境の保全などを行う。